

## 明治安田生命 2011年度入社式 社長挨拶（要旨）

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、187人（総合職92人、特定総合職<sup>\*1</sup>47人、アソシエイト職一般事務コース<sup>\*2</sup>48人）の新入職員を迎え、入社式を行いました。以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせします。

### <このたびの地震被害をうけて>

- まずは、このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。
- 今回の東日本を襲った巨大地震は、東北地方を中心に甚大かつ広範囲な被害をもたらし、まさに戦後最大の国難にあると言えます。今後は、何としてもこの難局を乗り越え、世界に誇れる日本を再生していくことが私たちの使命です。
- そのなかで生命保険会社が果たすべき役割は極めて大きいものと考えます。当社においても、全社をあげて、被災された方々への支援やお客さまへの迅速な保険金・給付金のお支払い等の対応を進めています。
- 本日より社会人となったみなさんは、日本の復興の主役になったと言えます。わが国が未曾有の危機にあるということを一人ひとりが認識し、明治安田生命の職員である前に、日本国民として、「自分の国を必ず再生するんだ」という強い意志を持っていただくことをお願いしたいと思います。

### 1. 「お客さま満足度向上の徹底追求」に向けて

- 入社にあたり、まずみなさんにしっかりと認識いただきたいことは、企業は社会的存在であり、お客さまの信頼なくして企業は存在し得ない、つまり、「お客さま満足度の向上なくして会社の成長はない」ということである。
- 生命保険業界は、少子高齢化の進展やお客さまニーズの多様化といった大きな経営環境の変化の真只中にある。こうした中、将来にわたる安定的成長への道筋を確実につけていくためには、お客さまや社会の価値観に正しく適合する経営を行なうことが何よりも重要である。そのために、当社はこれまで、「お客さま満足度の向上」をすべての活動の基本に据える取組みを実行してきた。
- この4月からは、新たな3ヵ年計画「明治安田新発展プログラム」をスタートさせる。本プログラムでは、国内生命保険事業の強化はもちろん、成長力ある海外生命保険市場の展開拡大や潜在的ニーズの高い介護事業といった新たな成長分野への進出など、さまざまな取組みを進めていく。
- お客さまにいつまでも変わらない安心をお届けするため、本プログラムの遂行を通じ、全社をあげてお客さま満足度向上への取組みを徹底していく。みなさんには、その一員として活躍してほしい。

## **2. みなさんに期待すること**

### **【仕事に対する「強い使命感」をもつ】**

生命保険は、相互扶助の精神のもと国民の社会保障の一旦を担うとともに、お客さまからお預かりした保険料を資産運用するという重要な社会インフラとしての役割もある。これからみなさんが担う仕事の積み重ねは、会社全体としての大きな責任、社会的使命を果たすことにつながっていく。この点をしっかりと自覚し、生命保険事業に携わる者として「強い使命感」を持ってもらいたい。

### **【グローバルな事業展開を担える人材に】**

少子高齢化や人口減少が進行する日本において、生命保険会社が安定的な成長を維持していくために海外展開は大変重要な選択肢である。本プログラムでは、中東欧やアジア、南米など新興国を中心としたグローバルな事業展開を柱の一つとしている。そのためにも、海外事業展開を担える人材が不可欠であり、みなさんには、新たな事業を、しかも海外で作り上げていくという気概をぜひ持ってもらいたい。

### **【逞しい職員になる】**

逞しさとは困難を乗り越えていく力があるということ。これからみなさんは、社会人という経験したことのないフィールドに踏み出すことになる。教わったことだけでは対処できない厳しい局面に立たされることもある。みなさんには、そのような局面に遭遇しても、自ら考えて状況を突破し困難を乗り越えていけるよう、逞しく成長していく職員になってほしい。

※1. 特定総合職は、生命保険事業の中核業務（個人営業分野・法人営業分野）を中心に幅広い職務を担当。転居を伴う異動はない。

※2. アソシエイト職（一般事務コース）は、生命保険事業に関わるお客さまサービスならびに事務対応全般を担当。転居を伴う異動はない。

以 上